

## シリーズ「アメリカン・ディアスポラ」第5回

アメリカ大陸の基層には、移動性が組み込まれている。「アメリカン・ディアスポラ」シリーズでは、アメリカ大陸を移動・還流する人々に焦点をあて、主要な受け入れ側である北米とともに、送り出し側のラテンアメリカの双方の視点から、多様なディアスポラによる社会変化について考えてみたい。

# 移住の多面性 メキシカン・ディアスポラ



## Mario Núñez Mariel

The Rutgers Institute for Transnational Mexican Studies 所長

Mario Núñez Mariel Weekly column is published in 42 Mexican newspapers; is an international analyst and consultant; is preparing the publication of the first volume of the History of Democratic Transition in Mexico; and is the director of Rutgers Institute for Transnational Mexican Studies (RITMoS), a subsidiary of the New Jersey State University of Rutgers.

移民は単に経済的要因として解釈されがちであるが、じつはもっと多次元的な方向性を秘めている。地理的の広がりに基づく政治的、経済的、戦略的、文化的要素を内包しているのである。メキシコ人のディアスポラ現象を理解しようとするには、移民が構成員となっている社会の多様な価値に注目し、それらを説明する包括的な方法論が必要である。メキシコとアメリカ合衆国は、歴史上もっとも緊密で広範な移民の時代を迎えている。これを歴史的局面にどのように位置づけて理解すればよいのであろうか？

日時： **11** 月 **8** 日 (火)

**17:30-19:00**

会場： **講武館 104** 番教室

来聴歓迎・予約不要  
スペイン語/講演字幕・通訳付

同志社大学  
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930  
e-mail. [ji-gs@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-gs@mail.doshisha.ac.jp)